

学校推薦型選抜（公募）Ⅰ期 国語「基礎学力調査」（二日目）

【一】 次の文章を読んで、後の問（問一～五）に答えなさい。

筆者は大学で脳科学の入門講義をする際、「ザ・ブレイン——知られざる脳の世界」というテレビ番組の一部を学生によく見せる。これは8回にわたり脳科学を広く紹介した国際共同制作（アメリカ、イギリス、イスラエル、日本、他）の番組で、貴重な実験場面や臨床例が数多く登場する。タレントは出演せず、余計な演出も一切なく、現在はテレビで放映できない動物実験もしっかり紹介しているきわめて良質な科学番組である。実験の映像や研究者のインタビュ^(ア)ーが中心であり、現在の科学番組で必須のコンピュータ・グラフィックスもほとんど使われていないが、それも当然で、制作されたのは1985年だからである。ちょうどビデオテープレコーダーが家庭にフキウ^(ア)し始めた頃であり、筆者もその頃初めてのボーナスで1台購入したため、録画することができた。

（あ）驚くべきことであるが、この1985年につくられた番組の内容が、現在でも教材として十分通用するのである。登場する実験機器は古めかしく、使われているコンピュータはおもちゃのような8ビットパソコンであり、解説している研究者の多くがコジン^(イ)となつてゐる。

ゝ 中 略 ゝ

この番組で紹介された内容を覆すような、あるいは新たに付け加えるべき本質的で革新的な事実は、現在に至るまで意外と見つからないように思える。脳の本当の姿を明らかにするためには、これまでの問題意識や方法論についてしっかりと

と検証し、新たな発想や姿勢で研究しなければならないことを、学生にこの番組を見せながら、いつも感じてしまう。

(い)、これまでの脳科学は何が問題だったのだろうか？ それは多分、脳という多要因の相互作用からなる動的な構造体を、個々の要因が独立して働くセイテキ⁽⁷⁾で機械的な構造体として理解しようとしてきたことかもしれない。ニューロン、神経伝達物質、遺伝子のような個々の要因がそれぞれ特定の機能を担っていると仮定することや、特定の部位と特定の機能の一对一の対応を見つけようとしてきたことが問題であった。たしかに、多数の要因が相互作用しながら変化を繰り返しているような構造体を調べ、その働き方を説明することは容易ではない。調べるための方法論から探していかなければならない。しかし、だからといって、脳を無理やりセイテキな構造物としてとらえ、単純な働き方をしていると見なしてよいはずがない。

(う)、アフリカの深い森に棲む^すゴリラの生態を知りたいとしよう。そのためには、そこにどのようなゴリラが棲み、どのような集団を構成し、毎日をどのように行動し交流しながら生活しているのか、詳しく調べる必要がある。しかし、そのような調査を広い森に棲む全個体を対象に実施することはかなり困難であり、ほぼ不可能である。そこで、森全体に上空から麻醉薬をフンム⁽⁸⁾してすべてのゴリラの動きを止め眠らせてしまう。あるいはすべてのゴリラを追い立てて、余計な物が一切ない部屋に閉じ込めてしまう。そのようにすれば、じっくりと時間をかけて全個体を調べることができるが、もちろんいうまでもなく、そこからゴリラの生態がわかるはずもない。

(え)、ゴリラをニューロンに、その集団を脳に置き換えてみれば、過去の脳科学はこのような方法論をとってきたのかもしれない。ゴリラと脳のニューロンではさすがに数が違い過ぎるのであれば、空中のミツバチでも、地中のアリでも、海中のプランクトンでも、同じことがいえる。研究する側にとって都合のよいように、観察対象の姿、つまり脳本来の姿^(b)を歪^{ゆが}めてきたのかもしれないのである。

〔問二〕 傍線——部(ア)ゝ(エ)に当てはまる漢字を、次の各群①ゝ⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(ア)	フキユウ	①	旧	②	級	③	急	④	給	⑤	及
(イ)	コジン	①	個	②	故	③	顧	④	古	⑤	孤
(ウ)	セイテキ	①	静	②	生	③	正	④	政	⑤	整
(エ)	フナム	①	粉	②	分	③	紛	④	噴	⑤	奮

〔問二〕 (あ)ゝ(え)に当てはまる最も適切な言葉を、次の①ゝ⑩の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

①	したがって	②	しかし	③	どちらにしろ	④	むしろ	⑤	もちろん
⑥	たとえば	⑦	ようやく	⑧	それでは	⑨	そして	⑩	このように

〔問三〕 二重線——部(a)のように作者が考える理由として最も適切なものを、次の①ゝ⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 脳科学は、研究者が少なく研究体制が整っていないから。
- ② 脳科学は、現実の脳の働きを見過しているから。
- ③ 脳科学は、既に脳の全てを研究し尽くしているから。
- ④ 脳科学は、入門的な研究だけに力を入れているから。
- ⑤ 脳科学は、人間の脳を研究対象としていないから。

〔問四〕 二重線——部(b)のように作者が考える理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① ギリラに置き換えてニューロンを研究したため、その働きの詳細が不明であるから。
- ② 研究者の興味と関心のもとで脳を研究してきたことに限界が見られるから。
- ③ 脳をギリラの集団に置き換えて研究したため、人間の脳を正確に理解していないから。
- ④ 脳を機械的な構造として見てきたため、その個々の要因の解明が不十分であるから。
- ⑤ 脳の部分的な働きを研究したことで脳全体を解明したと思いこんでいるから。

〔問五〕 作者の「脳科学」に対する見解として最も適切な説明を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 脳の構造と機能は、森の中のギリラの生態に類似しているから森の研究が必要である。
- ② 脳は、個々の要因であるニューロンや神経伝達物質の研究からその全容が明らかである。
- ③ 脳の働きは、多数の要因の相互作用であることから容易に解明できるものではない。
- ④ 脳の研究は、ここ40年ほど実質的な進歩がないが実験場面や臨床例における困難はない。
- ⑤ 脳に関する研究方法は、ギリラよりもミツバチやアリの群れを分析対象にすればよい。

【二】 次の文章を読んで、後の問（問一～五）に答えなさい。

—— アイドル歌謡の王者としての筒美京平像を決定づけたのは、昭和46年にデビューした南沙織と、その翌年にデビューした郷ひろみ、この二人でしょうね。

近田 南沙織のデビュー曲「17才」（作詞：有馬三恵子）は、リン・アンダーソンの「ローズ・ガーデン」（1970年）が元ネタだね。従来の歌謡曲とは違った、乾いた感覚が新鮮だった。末期のGSが歌謡曲化するなど、音楽界が（A）ドメスティックな方向に向かつていった一方、一般世間では、「anan」が創刊されたりして、ちょっと洒落た外国風しゃれのものを求めるフウチョウ(ア)が高まっていた。その時代のアイコンとして、南沙織が機能したということは言えると思う。

—— ちなみに、南沙織も郷ひろみも、所属レコード会社は昭和43年に設立された新興のCBS・ソニー(イ)（現・ソニー・ミュージックエンタテインメント）。アメリカのCBSと日本のソニーがセツパン出資を行って生まれた会社です。

近田 やっぱり、（日本）コロンビアやテイチク（現・テイチクエンタテインメント）、キング（キングレコード）といった老舗しんぽと比べると、圧倒的に新しいイメージがあった。ほどよく和風なんだけどどこか外国の匂いがする筒美作品の音楽構造と、CBS・ソニーの社風との間には、（B）があったんだろうね。

—— 郷ひろみのデビューには、近田さんは相当な衝撃を受けたそうですね。

近田 「男の子女の子」を歌う彼を見た時、あのルックスにあの声、という意外性にびっくりしてさ（笑）。あの曲、歌詞もシュールじゃん。僕たちと君たちの関係性がよく分からない。そこがいいんだけど、どういう風景(b)を想像しながら歌っているのかなあって。

—— 作詞は、越路吹雪こしじふぶきのマネージャーとしても知られる岩谷時子さん。

近田 郷ひろみの初期の楽曲に関しては、京平さんと作詞家との相性がみんな（C）によかったのよ。しかも、女性作詞家が多かった。「男の子女の子」の岩谷時子、「よろしく哀愁」（昭49）の安井かずみ、「わるい誘惑」（昭49）の有馬三恵

子、「逢えるかもしれない」(昭50)の山口洋子、「洪水の前」(昭52)の岡田富美子……。京平さんのメロディーには柔らかさがあるから、構築的ではなく(D)、男性性ではなく女性性の勝った歌詞が似合うんだよ。男性であったとしても、千家和也とか、ちあき哲也とか、優しい作風の作詞家と組んだ場合は旋律が生きる。そもそも、橋本淳さんだつてそういうかわらかい質感が得意なタイプだよ。

—— ヤナギゴシ⁽⁷⁾という言葉が頭に浮かびます。

近田 そうね。一歩引いた感じの女性性、今のJポップからは失われてしまった類の女性性とも言えることができる。それが、京平さんの時代と現代を隔てている大きな特徴のひとつなのかもしれない。歌謡曲なりJポップなりにおける女性像を塗り替えたのは、恐らくユーミン(松任谷由実)⁽⁸⁾だよ。『守ってあげたい』(昭56)という曲名に象徴されるように、勝気で能動的なヒロインが活躍する時代がトウライした。⁽⁹⁾

(近田春夫『筒美京平 大ヒットメーカーの秘密』文藝春秋より、文中省略・変更あり)

(注) グループ・サウンズ(和製英語)のことで、エレキ・ギターやエレキ・ベースなどの電子楽器を中心に数人で編成される、演奏および歌唱を行うグループのこと。

〔問二〕 傍線——部(ア)～(エ)に当てはまる漢字を含む熟語を、次の各群①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(ア)	フウチヨウ	① 潮位	② 調子	③ 頂点	④ 聴取	⑤ 跳躍
(イ)	セツパン	① 間接	② 苦節	③ 大切	④ 仮説	⑤ 挫折
(ウ)	ヤナギゴシ	① 超人	② 越境	③ 腰部	④ 擦過	⑤ 濃淡
(エ)	トウライ	① 登場	② 投稿	③ 搭載	④ 到着	⑤ 当选

〔問二〕 (A)～(D)に当てはまる最も適切な言葉を、次の各群①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(A)	① ずるずる	② どんどん	③ ひらひら	④ そろそろ	⑤ めきめき
(B)	① 距離感	② 親和性	③ 平行線	④ 不均衡	⑤ 対立軸
(C)	① 普通	② 適当	③ 世間的	④ 最終的	⑤ 抜群
(D)	① 感覚的	② 建築的	③ 中性的	④ 間接的	⑤ 破滅的

〔問三〕 二重線——部(a)～(c)の言い換えとして最も適切な言葉を、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(a) 機能した ① 人格的に良かった ② 役割を果たした ③ 自己を主張した

④ 休むことなく働いた ⑤ 歌が上手かった

(b) 風景 ① ステージや舞台から歌手が見る映像 ② 作詞家が考える音楽業界の状況

③ 歌詞の中の僕たちと君たちの様子 ④ 歌を聴いているファンの感情
⑤ 曲がヒットしたあとの世間の反応

(c) 一歩引いた ① タイミングを逃す ② 何事も遅れて取り組む

③ 力を緩める ④ 自分よりも相手を立てる
⑤ 強さを隠して弱く振る舞う

〔問四〕 波線~~~~部(X)が曲において表現される例として最も適切な説明を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

① 外国風の感覚で女性性を強調する。 ② 自由な恋愛で女性性を強調する。

③ 構築的な歌詞で女性性を強調する。 ④ 多様な生き方で女性性を強調する。

⑤ 受動的な表現で女性性を強調する。

〔問五〕

本文で「近田」が主張している意見として最も適切な説明を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 松任谷由実が登場して以降、アイドル歌謡は廃れていき筒美京平の作品が勢いを失った。
- ② 郷ひろみは筒美京平が作詞・作曲した曲を歌うことでスターになり、一流の地位を築いた。
- ③ 筒美京平の作品の特徴は、洋風と和風の融合、男性的でない柔らかな感覚の表現などである。
- ④ 岩谷時子が作詞した「男の子女の子」を分析するだけで、筒美京平作品のヒットの法則が分かる。
- ⑤ 南沙織は所属するレコード会社の雰囲気には合わなかったが、筒美京平の作風が見事にはまった。

【解 答 例】

入試年度 : 2025
入試種別 : 学校推薦型選抜(公募)
I 期 1日目
科 目 : 基礎学力調査

〈国語〉

問No.	解答番号
1	5
2	2
3	1
4	4
5	9
6	8
7	6
8	2
9	2
10	5
11	3
12	1
13	5
14	3
15	4
16	2
17	2
18	5
19	1
20	2
21	3
22	4
23	5
24	3